



**観音寺【曹洞宗】** 本尊／聖観世音菩薩  
生路地区 知多四国第10番札所

寛文3年(1663)生路村の人々が創建しました。江戸時代は村の庄屋が管理していましたが、生路にある常照寺と神後院が交替で管理しています。



**伊久智神社**

祭神として木花開那姫命と塩土老翁を祀っています。平安時代に編さんされた『延喜式』に記された「生道塩」はこの地域の浜で塩土老翁が製法を教えたものという言い伝えがあります。

境内北には樹齢100年を数える楠の大木が並び「大楠の森」として町指定天然記念物に指定されています。



**安徳寺【曹洞宗】** 本尊／釈迦牟尼仏  
藤江地区 知多四国11番札所

永禄2年(1559)乾室玖元を開山として創建と伝えられています。延享元年(1744)村人の発願により、もともと村の中にあつた薬師如来立像(町指定文化財)が祀られています。



## 於大まつり

### ◆於大のみち◆

“於大のみち”は、生立ち広場から乾坤院までの明徳寺川の両岸約2kmの歴史散策路です。沿道には約400本の八重桜が植えられ、於大が着用した夜着をモチーフにしたモニュメントなどが設置されています。また、左岸には「於大の方物語」、右岸には「東浦の歴史」を記した陶板が敷かれています。



### ◆於大まつり◆

家康の母、於大の方の生誕地である東浦町で行なわれる「歴史と文化の春まつり」の花である於大姫や於大を取り巻く歴代緒川城主や関係する武将と侍女が八重桜の咲く於大のみちで時代絵巻「於大行列」を繰り広げます。

発行・編集

東浦町教育委員会  
東浦町郷土資料館(うのはな館)

〒470-2103 愛知県知多郡東浦町大字石浜字桜見台18-4  
TEL 0562-82-1188 FAX 0562-82-1189  
メールアドレス: siryo@town.aichi-higashiura.lg.jp



# 史跡めぐり マップ

HIGASHIURA



## だんつく 獅子舞

藤江神社だんつく  
(町指定無形民俗文化財)

毎年、藤江神社で秋の祭礼にだんつくと呼ばれる獅子舞が奉納されています。この神事を奉納すると、どんな干天でも降雨があったと言われていました。また、獅子の後頭部に垂れている麻の毛は、蠅除けのまじないになるとの口伝えがあります。享保の頃(1716~1736)に横根(大府市)の藤井神社で中止されたのを受けて藤江が伝習したのがだんつくの始まりであると伝えられています。

なお、だんつく古面・八ッ頭舞楽龍頭的面も町指定文化財です。



## 知多四国霊場のはじまり

文化6年(1809)知多市古見の妙楽寺十三世住職・亮山阿闍梨は、弘法大師から「二人の行者を遣わすので、ともに知多半島に霊場を開き衆生済度せよ」と夢のお告げを受けました。さっそく本四国霊場を巡礼して霊場開発の造詣を深めながら、岡戸半蔵と武田安兵衛という二人の行者を得て、知多半島に新しい四国霊場を結ぶことができるよう一ヶ寺ずつ理解を求めて歩いて、霊場を開設し、東浦町にも7番札所から11番札所が制定されています。



## 弘法道と丁石

次の霊場へ参拝者を導く弘法道しるべ(丁石)が主に明治後半、地区の人々によって建立されました。ほぼ1丁(約109m)ごとに建てられ、現在でも街中に多く残っています。



**明徳寺【浄土宗】** 本尊／阿弥陀如来  
石浜地区 知多四国第9番札所

文明年間(1469~1487)創建と伝えられます。これ以前、明徳堂と称する古堂があり、この堂の創建は古く明徳2年(1391)であったという説もあります。もとは、明徳寺川沿い(現在の東浦中学校のあたり)にありましたが、元文元年(1736)明徳寺川による水害を避けるため現在地へ再建しました。文化10年(1813)弘法堂を建て、知多四国霊場の札所を置きました。